

鹿沼民話の会

【団体の概要】

会員数	11名
代表者名	荻原順子
主な活動場所	図書館、小・中学校、屋 台のまち中央公園など



1 団体設立の経緯

平成12年、美寿々すみ子先生による「語り部養成講座」で学んだ者が、平成13年に「鹿沼民話美寿々会」を立ち上げ、平成22年「鹿沼民話の会」と改めました。会員たちは、地元の方言を大切に、鹿沼に伝わる民話を広く語り継いでいこうとの使命を胸に癒しと温もりの語りを目指しています。

2 団体の具体的な活動内容

毎月、研修会を開いて地元の方言を勉強しつつ、語り部の活動をしています。

市立図書館でのおはなし会も行っておりますが、平成18年の夏休みには、東分館との連携協力で、学童クラブでのおはなし会も実施しました。活動の場は、鹿沼市内ばかりでなく、市外にも広がりつつあります。

3 団体としての今後の活動予定

核家族が増えているなか、親子で楽しく民話を聞くことにより、家族間の絆が少しでも強まるよう努力していきたいと考えています。

また、高齢者への対応として、老健施設での民話語りなども積極的に推進し、さらにさまざまな活動の場を増やしていきたいと思っております。